

韓国併合100年 東北アジアの和解と友好を考える **2.6平和集会**

2010年は日本が朝鮮半島を植民地化してから100年という節目の年にあたります。政府は日韓共同宣言や日朝ピョンヤン宣言で、過去の植民地支配について「痛切な反省と心からのお詫び」を表明しました。しかし、韓国との国交は1965年に正常化された一方で、朝鮮民主主義人民共和国とは日朝交渉が開始され18年、拉致問題や2度にわたる核実験の強行、ミサイル発射問題などもあり、打開の糸口は見えません。

蓮池透さんは、かつて拉致被害者家族会の事務局長・副代表として活動されていました。その間の経験をふまえ「やみくもな経済制裁は効果がない」「ピョンヤン宣言の履行をテコに対話の道を開くしかない」と主張されています。私たちや日本政府が北朝鮮やアジアとどのように向きあっていくべきか、示唆に富んだお話を聞けるものと思います。多くの皆さまのご参加をお持ちしています。



講 演

演題 **拉致問題の解決を求め続けて**

講師 **蓮池 透さん** (元・拉致被害者家族会副代表)

蓮池 透 (はすいけとおる) さん プロフィール

北朝鮮に拉致された蓮池薰さんの実兄。1955年、新潟県柏崎市生まれ。1997年から家族会事務局長、2005年から2007年まで同会副代表を務める。著書に「奪還 引き裂かれた二十四年」(新潮社)、「拉致 左右の垣根を超えた闘いへ」(かもがわ出版)など。

とき 2010年**2月6日(土) 14:00~**

ところ **石川県教育会館3階ホール**
金沢市香林坊1-2-40

参加費 **1,000円**

